

はまなす

〒098-1601 興部町字興部元町

電話 0158-82-2303 FAX 0158-82-2672

年間主題 「 愛し合う元気な仲間 (ともだち・自然・動物・資源を大切にしよう) 」

2月聖句

『 互いに重荷を担いなさい。』

(ガラテア信徒への手紙 6章 2節)

【巻頭言】 **こども幸福度 世界トップはオランダ** (参考: オルタナS特派員=中川真弓さん報告) **園長小山哲夫**

10年前、先進国における「子どもの幸せ調査」で1位だったのはオランダでした。その理由は「個性を伸ばす教育」と、「ワークシェアリングによって生活の安定と安心を保障している」事にありました。

2009年の「日本の子ども達の意識調査」では、「私は価値のある人間だと思う」という質問には、日本7.5%、米国57.2%、中国42.2%、「自分を肯定的に評価する」=日本6.2%、米国41.2%、中国38.0%、「私は自分に満足している」=日本3.9%、米国41.6%、中国21.9%、「自分が優秀だと思う」=日本4.3%、米国58.3%、中国25.7%、というように、諸外国と比較して極端に低く、日本の子ども達が「幸せ」が実感しにくい実情が表れていました。この実態は10年たっても変わらず、日本の実情が危ぶまれます。



オランダでは5歳から義務教育を受けていて、多くの子どもはプリスクールとして4歳から学校に通っています。その学校は私学でも公立でも全て無料です。いわゆる入試試験は人生に1回だけで、小学校の最終学年(8年生)の時に全国共通学力試験(CIT0テスト)を受けるそうです。その試験結果で、大学進学、普通、職業専門課の3つの中等教育機関へ振り分けられます。複数の選択チャンスがないのは、子ども達にとって厳しいと感じますが、それでもオランダの子どもも・大人も「幸せ」な人生と感じています。

その要因の一つは、「教育」の違いが挙げられます。オランダは「子ども自身で好きな教科を好きな時間選ぶ」教育が中心で、個人の個性を徹底的に伸ばすシステムになっています。その結果、子ども達は勉強にストレスを感じず、夢中になって学び、学力も先進国10位以内に入っています。入試よりも卒業が難しいのも日本とは全く逆の教育環境になっています。

またオランダでは、近年日本でもよく耳にするようになった「ワークシェアリング」がとても浸透しています。その結果、フルタイムとパートタイム従業員の賃金・社会保障に格差がありません。親は仕事と家庭のバランスを考えながら、安心して働き方を選ぶことができます。その結果、一人あたりの労働時間が先進国の中で最も少なく、男性の育児休業取得率はEU内で2番目になっています。つまり、オランダ政府が力を注いできた「仕事と家庭を両立できる：親への環境作り」こそ、子どもの幸福度向上に直結しているということです。(文章参考: オルタナS特派員=中川真弓さんの報告)



幸せの国と呼ばれるブータン。GNP(国民総生産)による物質的な豊かさよりもGNH(国民総幸福量)を大切にしています。7年前の調査では、ブータン国民の97%が「幸せ」を感じています。衣食住や教育など、国民が生活するための環境整備は国が行ない、外国人旅行者を含めて医療費は無償です。良い意味での平等感が生活全体にあるので、誰でも「幸せ」を感じやすく、「幸せ」をみんなで分かち合おうという穏やかな気持ちが浸透しています。そして、そんなブータンを、国民一人一人が逆行する世界の流れから守ろうと考え、自然や伝統文化を守る気持ち

がしっかり根付いています。平成が終わろうとしています。60年程前の日本でも、青空や空気など自然の恵みに感謝し、共に生活できる家族・集落に感謝しながら毎日を過ごしていました。子どもの頃は、水やお茶を買って飲む日本になるとは思ってもみませんでした。比較してみると、のどかな風景が広がる国土・人々の絆を大切にすることなど、精神的な共通点がとても多い国がブータンです。その自然豊かな日本の原風景に「幸せ」の原点があるような気がします。

ヨーロッパ(オランダ等)では、エレベーターの「閉」ボタンがなかったり、あっても押す人がほとんどいないそうです(電気使用量がかなり違うようです)。「ほんの何秒かを待てない・他の人と一緒ににならないように閉める」のか、「その数秒を余裕をもって待つ・他の人が乗れるように待つ」この違いは大きいと思います。子どもが「幸福」を感じる一時は、大人が余裕を持って子どもを温かく受け入れた一時だと思います。そんな経験を幼児期に積み重ねることで、人を大切にできる優しさを受け入れる心が芽生えてきます。子どもの幸せの為に、現代の忙しい生活を見直しましょう。

2月行事予定

1日(金) PM 興小学校・沙留小学校1日入学	9日(土) 土曜休園
2日(土) 土曜休園	11日(月) 休日
3日(日) P T A親子雪遊び交流会	13日(水) 新入園児一日入園
4日(月) 豆まき交流保育, あそびんクラブ、 年少お楽しみ会、2019年度入園説明会	16日(土) 土曜{木園
5日(火) 幼児運動教室(トレセン) 身体測定(満3歳・年長)	18日(月) あそびんクラブ 年長お楽しみ会
6日(水) 身体測定(年少・年中)	22日(金) 2月お誕生会(豚汁)
7日(木) 子育てを語る会 10:00~	23日(土) 土曜休園
8日(金) 避難訓練	25日(月) あそびんクラブ
	28日(木) 月末統計

<お知らせ>

1、子育てを語る会 2月7日(木) 10:00-11:30

2月は1年間の子育て・子育てを振り返って考えます。在園児父母、ご近所の方、新入園の方の参加をお待ちしています。その他、お子さんの様子、子育てについてのお話をします。多数ご参加下さい。

テーマ:『一年間を振り返り、今子育てに必要なことを考える』

※子育ての悩み、疑問などにも随時お答えいたします。気軽にご参加ください。

2、2月お誕生会について 2月22日(金) 豚汁(幼稚園の野菜を使います)

秋に幼稚園で収穫したジャガイモなどを使い、教師が調理した豚汁を食べます。いつもより少なめのお弁当を持たせて下さい。アレルギー他で食べられない場合は、事前に担任に連絡してください。



3、インフルエンザ・ノロウイルスにご注意下さい。

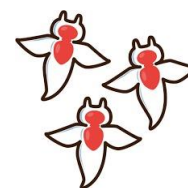
全国的にも、近隣町村でも、インフルエンザの罹患が増加しています。例年、同時期に胃腸炎・ノロウイルス等の流行も見られます。園児の健康管理に十分ご注意ください。特に、園児の体調が良くない場合は、無理に登園させないようにご配慮下さい。厚生省の新基準では発症後5日間は出席停止で、幼児(幼稚園児)の場合は、解熱後も3日間を経て登園可能です。医師の指示がある場合はそれに従って下さい。

4、満3歳児入園(つくし組)について

新年度も満3歳児(2019/4以降に3歳になる幼児)は、原則的に満3歳になった翌月から入園を受け付けます。満3歳児入園をご希望の方は、受入体制を整える為、できるだけ早めに幼稚園にご連絡下さい。よろしくお祈いします。

5、クリオネ 大募集中!

昨年も、在園児の父母の方のご協力で、「クリオネ」を飼育・観察できました。オホーツクの自然の豊かさを伝える為にしたいと思ひます。今年も捕獲可能な方は是非お祈いします。



6、園児のアレルギーについて

今月の豆まきは、ピーナッツではなく大豆を使ひます。ピーナッツアレルギーへの対応として、保護者と相談しながら、今年も大豆を使ひます。

乳児期のアレルギーは成長していくにつれて、症状が押さえられ、現れにくくなる時期がありますが、成長と共に症状が変わり喘息などになる場合もあります。幼稚園での飲食でアレルギー症状が出ないように配慮してひます。園児のアレルギー症状が出た場合は、早めに・正確に、担任にお知らせ下さい。



新年度園児・保育所パート職員募集中

新年度入園をご希望の方で、まだ手続きをされていない場合は、できるだけ早めに手続きをしてください。子どもの健全な成長のため、ぜひ、ご近所の方に入園をお勧めください。ご協力をお願いいたします。

また、4月から指定管理で運営する興部保育所のパート職員も募集してひます。詳細はお問合せ下さい。

以上